国営ひたち海浜公園
PRESS RELEASE
ひたち海浜公園から発信する旬な情報

2016 年 7 月 20 日
H28 年度　VOL. 24

砂丘エリアの希少な植物たちに会うなら、今！

夏の海浜植物　花めぐり

砂丘エリアに咲くスカシユリ　2016 年 7 月 10 日撮影

本公園の南東側、海浜部に位置する「砂丘エリア」。気持ちの良い潮風が吹き抜けるこの場所では、凛とした佇まいから「砂丘の女王」と呼ばれるスカシユリをはじめ、現在様々な海浜植物の花が咲いています。

実はこのエリアは、希少な植物が数多く生息しているポイント。砂丘内にある遊歩道を散策しながら、過酷な環境下で暮らす、たくましくも可愛らしい花々を間近で観察することができます。

希少な植物に会うなら、今がチャンス！この夏、魅力あふれる海浜植物の花々をめぐる散策に出掛けませんか？

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園　ひたち公園管理センター　広報係　　服部・浅沼

〒312-0012　茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4
TEL：029-265-9001（報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄）　FAX：029-265-9339
ホームページ　http://www.hitachikaihin.jp　“ひたち海浜公園”で検索。

～夏の砂丘エリアで出会える海浜植物をご紹介～

スカシユリ　ユリ科/ユリ属

花期：7 月上旬～下旬

海岸の砂地に生える多年草で、大きなオレンジ色の花を咲かせます。スカシユリの名は、花弁の下方が細くなって各弁の間に隙間ができ、透けて見えることに由来しています。梅雨時に咲き始めますが、雨がこの隙間から落ち、水が溜まらない機能的な花の形をしています。
スカシユリの咲く「砂丘エリア」は、乾燥しやすく、潮風が強い、植物にとって厳しい生育環境です。そこでスカシユリは、強い潮風に耐えるため地面を這うように低く育ち、短い茎の先に不釣り合いとも言える大きな花を咲かせます。また、光沢がある葉を持ち、太陽光を反射して葉の温度が上がるのを防いでいます。

ハナハタザオ

アブラナ科/ハナハタザオ属

花期：6～7 月頃

絶滅が危惧される貴重な植物で、環境省レッドデータブックでは絶滅危惧ⅠA 類に指定されています。小さな薄紫色の花を付けた清楚な姿をご覧いただけます。

カワラサイコ

バラ科/キジムシロ属

花期：6～8 月頃

本州～九州、東アジアなどの日当りのよい川原や砂地で黄色い花を咲かせる多年草。茨城県のレッドデータブックで準絶滅危惧に指定されています。

カワラナデシコ

ナデシコ科/ナデシコ属

花期：7～10 月頃

万葉集にも詠まれた秋の七草の一つです。日本全土に生息し、愛らしい見た目に反して、夏の暑さにも丈夫。茨城県のレッドデータブックで準絶滅危惧に指定されています。

ハマゴウ

クマツヅラ科/ハマゴウ属

花期：7～9 月頃

海岸の砂浜に群生する落葉小低木。茎は長く砂中を這い，枝は直立し高さ 50cm 程度になります。青紫色の花をつけ、実は漢方薬などに使用されています。

砂丘エリアには保護すべき植物がある一方で、駆除しなくてはならない侵略的外来種も生息しています。

コマツヨイグサ

アカバナ科/マツヨイグサ属

花期：7～8 月頃

北アメリカ原産の帰化植物で、黄色の小さな花を咲かせます。環境省の外来生物法で要注意外来種に指定されています。

オオフタバムグラ

アカネ科/オオフタバムグラ属

花期：7～8 月頃

環境省の外来生物法で要注意外来種に指定されています。
北アメリカ原産。

砂丘美化イベント開催！

海浜外来種バスターズ

オオフタバムグラ除去大作戦　8/27（土）

時間：10:00～12:00、場所：砂丘エリア、定員：30 名
協力：茨城生物の会、パークパートナー　※雨天中止

砂丘エリアの貴重な植物の守り人　野生植物パートナー ＆ 砂丘美化パートナー

公園ボランティア『野生植物パートナー』は、園内の自生植物やその生育環境、砂丘エリアの保全を行うとともに、その大切さを一人でも多くの方々へご紹介することを目的として、平成18年1月よりスカシユリやハナハタザオなどの野生植物の球根の移植や種子の採取、挿し芽などの増殖をなどの活動を行っています。
『砂丘美化パートナー』は、砂丘エリアの砂丘観察園路での松の実生木除去などの環境保全・美化活動をはじめ、沢田湧水地の環境保全の一環として、湿地復元した水田の田植えや稲刈り作業、クレソン除去作業なども行っております。
希少な海浜植物たちは、ボランティア方々による日々の活動によって守られているのです。

パートナー活動の様子
2016 年 6 月 3 日撮影